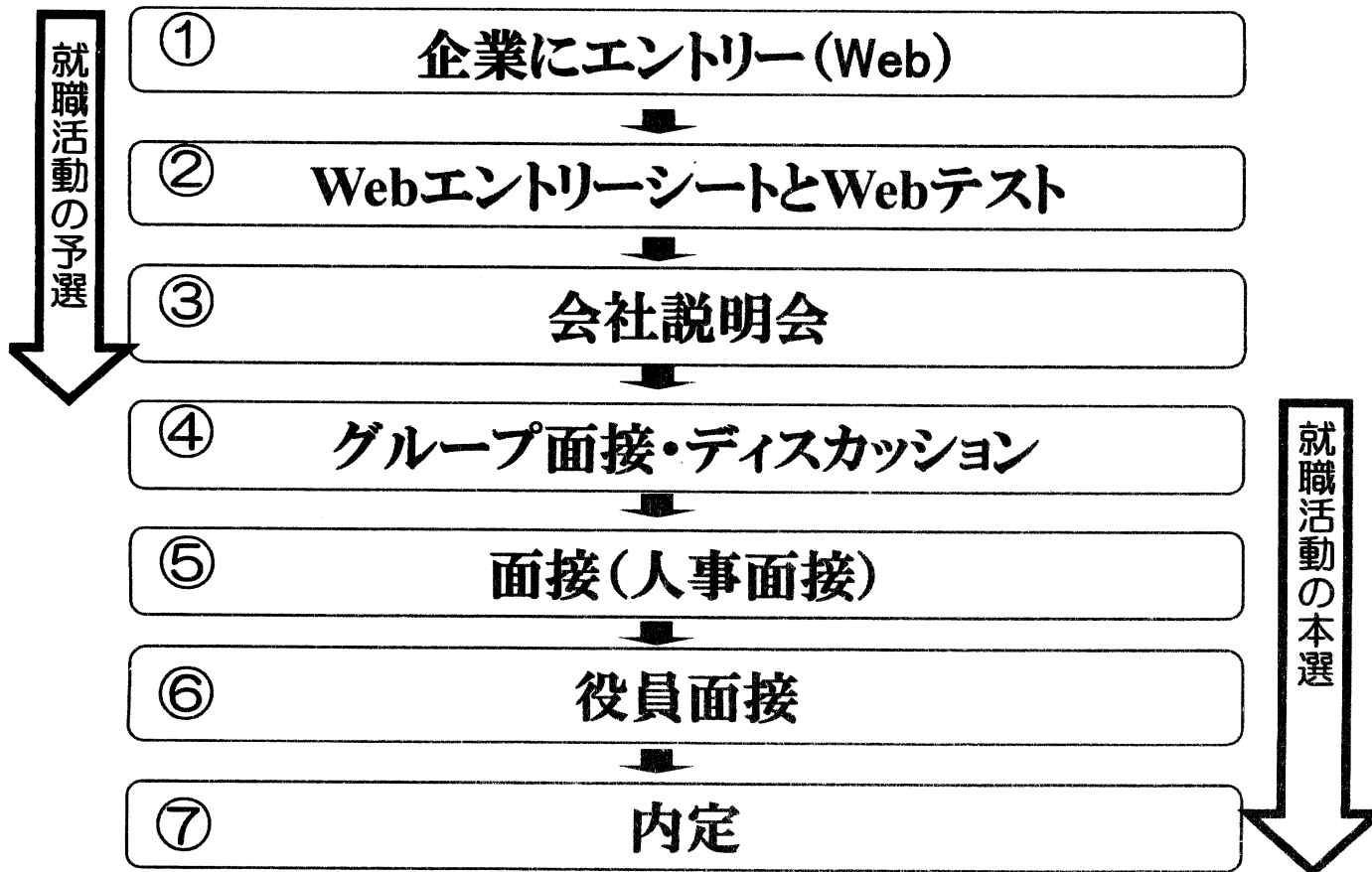


# ◆採用選考方法の全体図(変化)◆

## Web化による選考パターン例



インターネットの普及により、採用方法のWeb化が進んでいます。

Webによる企業・説明会へのエントリー、従来の筆記試験に替わるWebテストによる選考Webによるエントリーシート等です。

# 短期集中

## ×「準備の徹底(サイト活用・書類・テスト等)」 「行動(練習×実践)」×「継続」

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	準備期		活動期			内定ピーク期(GW明け)			
採用活動			<ul style="list-style-type: none"> <li>企業エントリー12/1～スタート</li> <li>12月後半から履歴書・ESの提出依頼が入る</li> <li>1月以降説明会・適正テスト等の日程案内がエントリーした企業入ってくる</li> <li>面接も入りだす。(1月以降) ※グループ面・個別面接</li> <li>エントリー100社</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>最終面が入りだす時期</li> <li>地方企業・地元企業・中小企業の採用が始まる</li> <li>事務職、一般職は総合職の採用が落ち着いた6月以降のケースが多い</li> </ul>			
就活のポイント	<p>12月以降、企業訪問、企業個別対応(ES作成等)のため、活動期以降準備ができなくなる。 そのため、準備をしている人していない人に差が出る時期→活動期に影響</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の就活生が企業エントリーをスタートさせるために一斉に応募作業がスタートする。そのため、準備期に企業を想定しておかないと後手になり、エントリー自体できない可能性もあり。</li> <li>12月・1月は履歴書・ESの作成がメインになる。ここで適切にあわないために内容をきちんと整理しておくことが重要。</li> <li>企業エントリーの仕方は幅広く・多面的に就活スタート時期は、正直どんな企業が向いているかわからない、イメージでエントリーするケースが多い。しかし、就活を通じて自分が希望するものが見えてくるのがほとんど。受けたいと思った時に、エントリーを締め切っていたために応募できないということがないようにする必要がある。 (業界×会社規模×職種)</li> <li>手帳のスケジュール管理</li> <li>友人との情報共有必要</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>内定が出だす時期なので周囲が内定出ると焦りますが、自分を信じて改善をすることはしていく</li> <li>疲れ始める時期→頑張りすぎない。メンタル管理が重要</li> <li>全行程のチェック時期(就活がうまくいかない場合、何度も同じことを繰り返すと進んでいると感じない、自分に自信が持てなくなります。その場合は、必ず選考工程で改善をするポイントを見つけていく)</li> <li>企業エントリーを継続と幅を広げる時期</li> <li>就職サイトを広げる&amp;大学の求人も確認していく</li> <li>相談相手を必ず見つける (キャリアセンターに来て!)</li> </ul>			
しないと いけないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職サイトを使いこなす</li> <li>企業への仮エントリー(BookMark)</li> <li>適正テスト練習</li> <li>履歴書の作成&amp;添削</li> <li>模擬面接練習</li> <li>リクナビ・マイナビのTVを必ずチェック</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>準備期の作業の継続</li> <li>履歴書&amp;ESの添削</li> <li>面接練習&amp;実践を繰り返す →通常、面接は5割通過すればいいほう。落ちてても気にしない。</li> <li>行動量と継続</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>企業エントリーを継続する (時間を必ず作る)</li> <li>合同企業説明会の活用</li> <li>面接練習</li> <li>情報収集源を増やす</li> </ul>			